

令和4年度 地域生活支援拠点等整備検証委員会

<p>【第1回】 6/22(水) 場所:東十郷コミュニティセンター 参加者:委員 10人、相馬先生</p>	<p>【内容】 1, 令和3年度検証委員会の振り返り 2, 緊急時の受け入れ・対応について ①登録システム ・登録システムの周知ツール(当事者・家族向け) ・基本情報等の様式 ②緊急事案の共有 ・緊急事案発生から輪番事業所受入まで 3, 体験の機会・場について(GW) ① ニーズ調査によって把握できるとよい項目や内容について ・地域移行(施設入所または精神科病院長期入院している障がい者)、地域生活継続(在宅障がい者)の支援ニーズの把握</p> <div data-bbox="411 779 1353 1093" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>長期入院、入所している実数の把握。 質問の具体的内容(本人または家族向け)や対象者ごとの把握の必要性。 本人及び家族の思いを別々に把握できるような質問項目や場所の設定の必要性。 集計方法(クロス集計)など。</p></div> <p>② サービス提供事業所の情報集約・発信について</p> <div data-bbox="421 1187 1337 1393" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>事業所の送迎状況が分かるような工夫。 路線バスの要望。 本人に伝わるような社会資源の情報発信。</p></div>
--	--

<p>【第2回】 12/22(木) 場所:あわらし役 所 正庁 参加者:委員9人</p>	<p>【内容】</p> <p>1,「専門的人材の確保、養成」について考える</p> <p>(1)地域生活支援拠点等の機能充実に向けた運用状況の検証及び検討の手引きより</p> <p>(2)福井県の法定研修等について(強度行動障害、医療的ケア児・者等の支援)</p> <p>①県の法定研修について</p> <p>強度行動障害研修:基礎研修2日間、実践研修2日間、 フォローアップ研修2日間</p> <p>②医療的ケア児等に関する研修について</p> <p><県主催研修></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児等支援者養成研修(2日間講義のみ) ・医療的ケア児等コーディネーター養成研修(5日間) <p><福井県医療的ケア児者支援センター主催研修></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児者の在宅医療支援研修会(講義形式4回) <p>2,「強度行動障害のある方、医療的ケア児・者等を支援できる専門的人材の養成と確保について考える」(GW)</p> <p>(1)現在実施している、事業所内や他機関、地域の人材養成の取組について</p>
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強度行動障害の事例が事業所内に無いため、受講後のおさらいや実践が薄く、深められていない。 ・医療的ケア児・者に対応できる訪看ステーションが地区内に少なく、福井市の方から入ってもらっているケースがある。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県主催の研修内容を事業所内でフィードバックしている。 ・内部研修(虐待防止、感染症、外部講師による児の応用行動分析に関する研修、看護協会による専門・認定看護師出前講座)をしている。 ・サポート協会(知的福祉協会)や県社協の研修を受講している。 ・国立病院機構のブロック別研修会に参加している。(外部受講可の研修あり) ・法人内で研修(研修委員会がある:委員には管理職も入る)を実施、参加している。 	
<p>(2)地域で取り組めると良い活動・研修等について</p>	
<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場レベルでの定期的な困難ケースの共有、検討→必要なスキルを見出しそのスキルが高められるような研修を設定する。 ・「おもしろさ」に出会うことがモチベーションにつながるのではないかな。 ・職員が研修を受講しやすいように管理者層の理解が必要である。 ・医ケアや強行に特化した職員に研修の講師を依頼してはどうか。 ・中間管理職の共有の場が欲しい。(人材確保や育成を考えるため) ・医療的ケア児について、コーディネーターを中心に研修を企画するのはどうか。 ・実践報告会をしてはどうか。(現在休止している事例検討部会のようなイメージ) ・外部からも参加できそうな法人内研修に参加できないか。 	